

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2010128
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	社会教育班

事業(予算)名	生涯学習事業							
総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策1 地域文化を継承し、市民の仕事や趣味、生活に役立つ生涯学習の振興						
	施策の展開	(1) 生涯学習活動の促進						
予算科目	会計	一般	款	9	項	5	目	1
関連計画・根拠法令等	社会教育法、富里市教育振興基本計画、とみさと教育プラン							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	不明				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	平成28年度から実施している「ふるさと富里再発見in小岩井農場」については、岩崎久彌氏について学習機会のみならず、農業、国重要文化財、環境、自然体験など多岐にわたり学習することができ、児童にとってかけがえのない事業となっている。岩手県まで、バスで片道8時間をかけて移動している部分について、安全面、時間の有効活用の観点から見直しが必要である。平成29年度から実施している「とみっこ大学」は応募状況も好評であり、前半においてのアンケート調査においても好評価を受けているため。						
	対象(誰・何を)	市民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	生涯学習の機会の提供の場として、児童を対象とした自然体験を含む旧岩崎家末廣別邸、末廣農場、岩崎久彌氏について学習する「ふるさと富里再発見in小岩井農場」、ものづくり・環境学習の体験活動を中心に学習「とみっこ大学」、英語ふれあいDays等の事業をさらに充実させるとともに、生涯学習・家庭教育講演会、20歳以上の市民を対象にした創年セミナーを実施する。 拡充するものについては、参加者負担金を充当するなどして対応していく。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input checked="" type="checkbox"/> その他の民間活用（関連する民間事業者、市民、市内で活動する団体など）						
	事業手法選択の理由	平成30年度より、参加者負担金を市歳入会計にしたことにより、歳出について委託という手法を選択した。また、事業によっては、講座などの講師を市民や団体などに依頼し、地域連携、協働を目指しているため。						
	協働の取組	有	協働の取組内容		「とみっこ大学」の講師について、経験・知識が豊富な市民、生涯学習アシスト事業やサポートセンター、ボランティアセンターに登録している個人、団体を活用する。			

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
小岩井農場学習参加児童の満足度	%	100	100	100	100	質問項目により、改善すべき点も把握できるため。
とみっこ大学参加児童の満足度	%	79	80	85	90	質問項目により、改善すべき点も把握できるため。
創年セミナー開催数	回	16	16	16	16	生涯学習の場を提供するため。
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
公民館利用者数	人	64,425	65,000	生涯学習事業の主な活動は、公民館で実施しているため。		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
「英語ふれあいDay」関連行事参加者の満足度	%	93 (H26)	95	KPI	前年度のアンケート結果等を踏まえて、改善すべき点は善処する。	
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
生涯学習事業	教育委員会	生涯学習課	社会教育班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	小岩井農場学習参加児童の満足度	%	—	—	100		100		
	とみっこ大学参加児童の満足度	%	—	—	80		85		
	創年セミナー開催数	回	—	—	16		16		
第三次実施計画	活動指標*	創年セミナー開催数	回	16	16	—	—	—	—
		生涯学習・家庭教育講演会開催数	回	1	1	—	—	—	—
		英語ふれあいDay開催数	回	3	3	—	—	—	—
	成果指標*	創年セミナー修了者数	人	50	35	—	—	—	—
		生涯学習・家庭教育講演会来場者数	人	100	101	—	—	—	—
		英語スピーチコンテスト・パフォーマンス発表会来場者数	人	300	264	—	—	—	—
ふるさと富里再発見参加者数		人	30	7	—	—	—	—	

* 活動指標: 事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標: 達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	目標を上回ることはできなかったが、概ね目標値を達成することができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	生涯学習の機会提供の場として運営していきたい。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2010228
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	社会教育班

事業(予算)名	公民館管理事業
---------	---------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策1 地域文化を継承し、市民の仕事や趣味、生活に役立つ生涯学習の振興						
	施策の展開	(2) 生涯学習の拠点の充実						
予算科目	会計	一般	款	9	項	5	目	2
関連計画・根拠法令等	社会教育法、富里市教育振興基本計画、とみさと教育プラン、富里市公共施設等総合管理計画							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	S58	公民館施設管理維持のため			—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	市民の社会教育の中核的な施設として中央公民館の役割が重要となっているが、その施設・設備の老朽化が著しく、機能の回復や向上が必要となる箇所が多くなっている。今後は、中長期的な視点に立った老朽化対策、将来の利用需要も踏まえ、市民が安心して学び・集う場所としての利便性の向上や安全確保に努める必要がある。						
	対象(誰・何を)	市民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	【適正な維持管理】 公共施設管理計画(個別)を作成し、長寿命化の実施を検討 【サービスの適正化】 少子高齢化や人口減少の進行に伴う、今後の利用需要の変化に対し、官民連携手法(PPPやPFI)の活用を検討し、財政負担の軽減を図りながら施設利用の多様なニーズに応えられるよう努める。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input checked="" type="checkbox"/> その他の民間活用 (コンセッション事業)						
	事業手法選択の理由	民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、公共施設整備を効率的に進めることができるとともに、施設利用サービスを上質でより安く提供できることが見込まれるため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
公民館利用者数	人	53,965	57,000	59,000	65,000	生涯学習の拠点としての利活用度の目安となる
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
公民館利用者数	人	64,425	65,000	生涯学習の拠点としての利活用度の目安となる		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名		部等名	課等名		班等名			
公民館管理事業		教育委員会	生涯学習課		社会教育班			
指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度		
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
第四次実施計画	公民館利用者数	人	—	—	57,000		59,000	
			—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	公民館(講堂棟含む)利用者延べ人数	人	60,000	55,973	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
	成果指標*	公民館(講堂棟含む)利用件数	件	5,000	4,462	—	—	—
		公民館(講堂棟含む)利用者延べ人数	人	60,000	55,973	—	—	—
				—	—	—	—	

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった。
		判断理由	目標値は上回らなかったが、概ね目標値を達成している。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	施設の老朽化により補修箇所が増えている。 利用者の安全の確保及び利用団体が快適に利用できるよう社会教育活動の場として引き続き支援を行う。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2010528
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分

継続

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	文化資源活用室

事業(予算)名	旧岩崎家末廣別邸保存活用事業
---------	----------------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさとお愛を育むまち						
	施策	施策1 地域文化を継承し、市民の仕事や趣味、生活に役立つ生涯学習の振興						
	施策の展開	(5) 文化財の保護・活用						
予算科目	会計	一般	款	9	項	5	目	1
関連計画・根拠法令等	文化財保護法、千葉県文化財保護条例、富里市文化財の保護に関する条例、消防法、都市計画法、都市公園法、建築基準法、都市公園条例、千葉県環境保全条例など							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	施設の公園化に向け、庭園部分については平成29年度に実施設計の完了を予定。国登録有形文化財建造物3棟及び附属建物(管理棟)については基本設計まで完了している状況である。しかし、耐震設計に関わる調査等が未了であり、複数の大学の協力を得て必要な調査を継続中である。また年々、一般公開を望む声が大きくなっていることから、対応策を考慮する必要性が生じている。						
	対象(誰・何を)	旧岩崎家末廣別邸(敷地含む)と市民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	本市の歴史資源として活用を図るために旧岩崎家末廣別邸の公園化を進めているもので、今後、工事に関わる大規模な予算化が最重要課題である。国、県の交付金などを精査し、あらゆる可能性を考慮して整備費用を捻出する必要がある。また、一般公開を望む声に対しては、現状、市民のみを対象としている特別公開の枠(市外、県外対象)を拡大し、対応を図ることが効果的と考えている。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	都市公園として整備することから、公園化までは国交付金などを活用した直営事業で行なうが、公園化後は指定管理者制度の導入など、利用者の満足度を向上する事業手法の導入が望まれる						
	協働の取組	有	協働の取組内容	別邸管理ボランティアによる建物及び庭園の管理				

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
整備進捗率(事業費ベース)	%	30	30	88	90	一般公開までの進捗率であるため。
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
整備進捗率(事業費ベース)	%	13 (H27)	88	KPI	一般公開までの進捗率であるため。	
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
旧岩崎家末廣別邸保存活用事業	教育委員会	生涯学習課	文化資源活用室

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	整備進捗率(事業費ベース)	%	—	—	30		88		
			—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	建物修復・庭園復元基本設計	件	—	完了	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	建物修復・庭園復元基本設計	件	—	完了	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	目標とした基本設計が完了した。
		実績値を踏まえた今後の方針	追加等更に発展させる
		今後の方針の理由及び今後の予定	今後は、基本設計に基づく整備の実施が必須であり、状況変化に対応しつつも、着実に事業の推進を図る必要があるため。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	○	事業コード	2010528
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	文化資源活用室

事業(予算)名	文化財事業							
総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策1 地域文化を継承し、市民の仕事や趣味、生活に役立つ生涯学習の振興						
	施策の展開	(5) 文化財の保護・活用						
予算科目	会計	一般	款	9	項	5	目	1
関連計画・根拠法令等	文化財保護法							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	—				—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	国民共有の財産である文化財は、適切な保存はもとより、一般公開するなどの活用が求められている。その様な中で、長期的な保護の体制及び明確なビジョンの提示が必要である。						
	対象(誰・何を)	市内に所在する全ての文化財(指定・未指定の区別なし)						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	長期的な保護の体制及び明確なビジョンは、文化財を指定・未指定やその種別によって、個別的に保存するのではなく、地域性や地域文化の連続性の中で捉え、「関連文化財群」として、活用も視野に入れなくてはならない。 その根幹をなす「歴史文化基本構想」は、文化庁が推進する施策の基本ともなり、「富里市歴史文化基本構想」を策定することによって、市内に所在する全ての文化財について、「関連文化財群」としての保護の方向性を定める。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	古文書悉皆調査等は直営で実施し、「富里市歴史文化基本構想」の策定の最終段階では、その調製及びシンポジウム開催等について委託を実施する。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
富里市歴史文化基本構想の策定		調査	調査	調査 骨子	策定	策定することが目的だから
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
文化財指定数	件	24	27	「富里市歴史文化基本構想」の策定には、全ての文化財が対象となり、その中から市指定となりうる文化財が見出せるため		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
文化財事業	教育委員会	生涯学習課	文化資源活用室

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	富里市歴史文化基本構想の策定	—	—	調査		調査骨子			
		—	—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—	—		
第三次実施計画	活動指標*	既知資料の確認数	点	5	15	—	—	—	—
		新発見資料数	点	5	1	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	
	成果指標*	既知資料の確認数	点	5	15	—	—	—	—
		新発見資料数	点	5	1	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	新発見資料数については、目標に届かなかったものの、既知資料の確認数については、目標を大幅に上まわっている。 新発見資料については、従前の調査漏れなどによるものであり、簡単には発見できるものではないことから、目標達成には至らなかったと判断される。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	「文化財保護法」の改正が平成31年4月に予定されており、この中で地域での文化財保存活用に係る計画等を定める方向性も示されることから、歴史文化基本構想の策定は重要な要素となる。 よって、目標とする「富里市歴史文化基本構想」の策定は、改正される「文化財保護法」の趣旨にも合致し、今後の文化財保護行政の推進には必要である。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2020128
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	スポーツ振興室

事業(予算)名	スイカロードレース大会事業
---------	---------------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策2 市民の健康と活力を支える生涯スポーツの振興						
	施策の展開	(1) 誰もが気軽にスポーツを楽しむ環境づくり						
予算科目	会計	一般	款	9	項	6	目	1
関連計画・根拠法令等								
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		

事業の概要	現状 (課題・ニーズ)	参加者は日本全国から来場しており、好評を得ている。開催が6月下旬であり高温多湿なため健康状態や安全を確保した大会とする必要がある。						
	対象 (誰・何を)	参加者						
	事業内容 (課題・ニーズの解決策)	富里市民を全国のスポーツ愛好者との交流と親睦を図るとともに、富里の特産品である富里スイカの更なるPRを図るため、スイカロードレース大会を支援する。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input checked="" type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法 選択の理由	市が支援すべき事業であるため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
申込者数	人	13,066	13,000	13,000	13,000	大会の定員数であるため
参加者の満足度	%	81.9	80	80	80	より良い大会とするため
後期基本計画 における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における 指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
スイカロードレース大会事業	教育委員会	生涯学習課	スポーツ振興室

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	申込者数	人	—	—	13,000		13,000		
	参加者の満足度	%	—	—	80		80		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	申し込み者数	人	13,000	13,066	—	—	—	—
		参加者の満足度	%	80	82	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	申し込み者数	人	13,000	13,066	—	—	—	—
		参加者の満足度	%	80	82	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	申込者数及び参加者の満足度に関して、目標値を上回ることができているため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業内容の見直し(改善)
		今後の方針の理由及び今後の予定	設定している目標値は上回ることができたものの、年々大会として抱えている問題が多くなってきている。特に大会規模(定員)については、見直しが必要と考えている。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2020128
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分

継続

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	スポーツ振興室

事業(予算)名	体育運営事業
---------	--------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策2 市民の健康と活力を支える生涯スポーツの振興						
	施策の展開	(1) 誰もが気軽にスポーツを楽しむ環境づくり						
予算科目	会計	一般	款	9	項	6	目	1
関連計画・根拠法令等	富里市教育振興基本計画(平成29年度とみさと教育プラン)							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	水泳教室・水泳大会・とみさとスポーツ健康フェスタの開催は、参加者から好評を得ているが、参加人数が伸びていない。普段運動をしていない人の取組みについて改善を図る。富里市体育協会及び富里市スポーツ少年団の活動に対し、財政的支援を行い活動の継続を図る。						
	対象(誰・何を)	市民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	水泳教室・水泳大会・とみさとスポーツ健康フェスタの開催により気軽にスポーツに触れることができる機会を市民に提供し、誰もがスポーツを楽しむことのできる環境づくりを図る。また、全国大会出場者への奨励費の交付を行い選手への支援を図る。学校体育施設の開放事業により、市民にスポーツ活動の場所の確保を図る。学校体育施設の開放運営事業により、市民にスポーツ活動の場所を図る。富里市体育協会・富里市スポーツ少年団の活動に対し、財政的支援を行い活動の継続を図る。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	補助金の交付等市が実施することであるため						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値		目標値		指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
水泳教室・水泳大会	回	6	6	6	6	スポーツに触れる機会の確保のため
スポーツ健康フェスタ	種目	8	8	8	8	スポーツに触れる機会の確保のため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
スポーツクラブ団体数	団体	137	145	スポーツを楽しむ環境づくりにより、市民の健康に対する意識の高揚と生涯スポーツの振興に寄与する。		
スポーツクラブの登録者数	人	2,997	3,150	スポーツ、レクリエーションの普及と指導者の養成と資質の向上に寄与する。		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
体育運営事業	教育委員会	生涯学習課	スポーツ振興室

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	水泳教室・水泳大会	回	—	—	6		6		
	スポーツ健康フェスタ	種目	—	—	8		8		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	水泳教室・水泳大会	回	6	6	—	—	—	—
		スポーツ健康フェスタ	種目	8	8	—	—	—	—
		全国大会等出場者奨励費	円	300,000	220,000	—	—	—	—
	成果指標*	水泳教室・水泳大会参加者数	人	100	196	—	—	—	—
		スポーツ健康フェスタ参加者数	人	300	258	—	—	—	—
		全国大会等出場者数	人	11	14	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	水泳教室・水泳大会は、毎年参加者からは大変好評を得ている。また、誰もがいつでもスポーツに参加できるきっかけの場として開催している「とみさとスポーツ健康フェスタ」は今年度も多くの参加者を集めることができた。 スポーツ活動の支援として、市に住所を持つ者が全国大会に出場した場合に奨励金を支出し、支援を行っている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	スポーツへ触れる場の提供として、スポーツイベントの開催を行うとともに、富里市体育協会や富里市スポーツ少年団活動に対し、引き続き支援を行う。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2020128
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	スポーツ振興室

事業(予算)名	保健体育総務事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策2 市民の健康と活力を支える生涯スポーツの振興						
	施策の展開	(1) 誰もが気軽にスポーツを楽しむ環境づくり						
予算科目	会計	一般	款	9	項	6	目	1
関連計画・根拠法令等	スポーツ基本法第32条第2項 富里市教育振興基本計画(平成29年度とみさと教育プラン)							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	教育委員会から委嘱されたスポーツ推進委員15名は、スポーツ出前講座の実施により市民への軽スポーツの普及を行っている。また、県や郡単位で開催される研修会へ参加し、個々の資質の向上を図っている。						
	対象(誰・何を)	市民、スポーツ推進委員						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	スポーツ推進委員が研修会・講習会へ積極的に参加することにより、時代のニーズに即したニュースポーツの習得や適切な指導方法の研鑽を図る。また、市民からの要請に応じた指導やスポーツの普及に努める。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input checked="" type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	市が委嘱しているスポーツ推進委員の事業等であるため。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値				指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度		
出前講座	回	5	5	5	5	定期的開催することで多くの方に参加してもらうため	
研修会	回	5	5	5	5	定期的に研修会に参加し、資質の向上を図る必要があるため	
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由			
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由		
		()					
		()					
		()					

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
保健体育総務事業	教育委員会	生涯学習課	スポーツ振興室

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	出前講座	回	—	—	5		5		
	研修会	回	—	—	5		5		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	スポーツ出前講座	回	5	1	—	—	—	—
		スポーツ推進委員協議会研修会	回	5	8	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	スポーツ出前講座参加者数	人	100	13	—	—	—	—
		スポーツ推進委員協議会研修会参加者数	人	35	14	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	効果があった
		判断理由	スポーツ推進委員が研修に参加し、ニュースポーツの指導方法などを習得したことにより、出前講座参加者にニュースポーツの楽しさ伝えることができた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	今後、さらに多くの推進委員へ研修へ参加するよう周知し、出前講座に加え、定期的なニュースポーツの紹介の場を設けることで、市民がスポーツに親しめるよう努める。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2020228
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	スポーツ振興室

事業(予算)名	運動場管理事業							
総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策2 市民の健康と活力を支える生涯スポーツの振興						
	施策の展開	(2) スポーツ施設の充実						
予算科目	会計	一般	款	9	項	6	目	2
関連計画・根拠法令等	地方自治法第244条の2第1項、富里市公共施設等総合管理計画 富里市教育振興基本計画(平成29年度とみさと教育プラン)							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	S53	高野運動広場完成 ※富里市営運動場はS56に完成			—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	市民の社会体育の中核的な施設として富里市営運動場及び高野運動広場の役割が重要となっているが、各施設ともに老朽化が進んでいることから、安全で良好な状態で貸し出すため、高野運動広場及び市営運動場の改修を検討する必要がある。						
	対象(誰・何を)	施設利用者、屋外体育施設(富里市営運動場、高野運動広場)						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	利用者の安全を確保し、良好な状態で貸し出すことで、明るく豊かな市民生活の向上を目指すことを目的として今後の改修計画を策定し適切な取り組みを推進していく必要がある。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用()						
	事業手法選択の理由	計画策定にあたっては、専門的な調査等が必要となるため専門業者への委託を行う						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値			指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度	
市営野球場利用団体数	団体	122	90	90	90	社会体育の拠点としての利活用度の目安となるため
市営テニスコート利用団体数	団体	881	500	500	500	社会体育の拠点としての利活用度の目安となるため
高野運動広場利用団体数	団体	309	170	170	170	社会体育の拠点としての利活用度の目安となるため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
運動場管理事業	教育委員会	生涯学習課	スポーツ振興室

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	市営野球場利用団体数	団体	—	—	90		90		
	市営テニスコート利用団体数	団体	—	—	500		500		
	高野運動広場利用団体数	団体	—	—	170		170		
第三次実施計画	活動指標*	市営野球場利用団体数	団体	90	122	—	—	—	—
		市営テニスコート利用団体数	団体	500	881	—	—	—	—
		高野運動広場利用団体数	団体	170	309	—	—	—	—
	成果指標*	市営野球場利用数	人	3,500	6,377	—	—	—	—
		市営テニスコート利用数	人	3,300	5,990	—	—	—	—
		高野運動広場利用数	人	4,500	6,606	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	非常に効果的であった
		判断理由	実績値が目標値を大幅に上回ることができているため。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	一定数の利用が見込まれる。施設の老朽化により必然的に補修箇所等が生じる場合もあるが、利用者の安全の確保及び良好な状態を保持し、少しでも長く活用していけるように努める。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2020228
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	拡大
------------	----

社会体育館管理計画

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	スポーツ振興室

事業(予算)名	社会体育館管理運営事業
---------	-------------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策2 市民の健康と活力を支える生涯スポーツの振興						
	施策の展開	(2) スポーツ施設の充実						
予算科目	会計	一般	款	9	項	6	目	2
関連計画・根拠法令等	地方自治法244条の2第1項、富里市公共施設等総合管理計画 富里市教育振興基本計画(平成29年度とみさと教育プラン)							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	S59	富里社会体育館完成			—			

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	市民の社会体育の中核的な施設として社会体育館の役割が重要となっているが、開館から約30年を超え、老朽化の影響が顕著に表れ始めていることから、利用者の安全を確保するためには、大規模改修計画を作成し、改修工事を計画的に進める必要がある。						
	対象(誰・何を)	施設利用者、屋内体育施設(富里社会体育館)						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	利用者の安全を確保し、良好な状態で貸し出すことで、明るく豊かな市民生活の向上を目指すことを目的として今後の改修計画を策定し適切な取り組みを推進していく必要がある。						
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用()						
	事業手法選択の理由	計画策定にあたっては、専門的な調査等が必要となるため専門業者への委託を行う						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
社会体育館利用団体数	団体	1,760	1,800	1,800	1,800	社会体育の拠点としての利活用度の目安となるため
社会体育館利用者数	人	47,200	50,000	50,000	50,000	社会体育の拠点としての利活用度の目安となるため
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
社会体育館管理運営事業	教育委員会	生涯学習課	スポーツ振興室

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	社会体育館利用団体数	団体	—	—	1,800		1,800		
	社会体育館利用者数	人	—	—	50,000		50,000		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	社会体育館利用団体数	団体	1,800	1,760	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	社会体育館利用者数	人	50,000	47,200	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標 * 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	目標値は上回らなかったが、概ね目標値を達成している。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	施設の老朽化により必然的に補修箇所等が生じる場合もあるが、利用者の安全の確保及び良好な状態を保持し、少しでも長く活用していけるように努める。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2030228
-------	----	------	---	-------	---------

➔ 【継続】の場合の区分 拡大

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	社会教育班

事業(予算)名	放課後子ども教室推進事業
---------	--------------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策3 次代を担う子どもを育む学校教育・幼児教育の推進						
	施策の展開	(2) 子どもを見守る体制づくり						
予算科目	会計	一般	款	9	項	5	目	1
関連計画・根拠法令等	社会教育法第5条(最終改正平成29年)、「次世代の学校・地域」創生プラン(平成28年1月25日策定)、富里市教育振興基本計画、とみさと教育プラン							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	H20	学校・家庭・地域のみんなで子どもを育てる環境づくりの推進						

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	地域の人間関係の希薄化や生活様式の多様化などの様々な要因から、子ども達を見守り、育てる環境の低下が懸念されている。						
	対象(誰・何を)	市内小学校の児童						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	子ども達が地域の中で、安全・安心に、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、小学校の教室などを活用し、地域の方々の協力を得ながら、子ども達と学習やスポーツ・文化体験を行っている。 また、本事業は、地域や学校、学童クラブとの連携が不可欠であり、今後も協力を得ながら実施していく必要がある。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	各小学校を通じスタッフの募集を募る。その後そのフタッフを中心に活動日、活動内容等を決定。市においては、学習アドバイザー(講師)、活動場所、活動に必要な消耗品等を手配している。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値				指標として設定する理由
		29年度	30年度	31年度	32年度		
放課後子ども教室開設数	教室	2	3	3	3	市内各小学校に「放課後子ども教室」「とみさとザ・ワールド・キッズ」のいずれかの教室を1つ開設するため。	
とみさとザ・ワールド・キッズ開設数	教室	3	4	4	4	市内各小学校に「放課後子ども教室」「とみさとザ・ワールド・キッズ」のいずれかの教室を1つ開設するため。	
後期基本計画における指標	単位	実績値 26年度	目標値 32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由			
総合戦略における指標等	単位	基準値 (年度)	目標値 31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由		
		()					
		()					
		()					

事業(予算)名	部等名	課等名	班等名
放課後子ども教室推進事業	教育委員会	生涯学習課	社会教育班

指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度			
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
第四次実施計画	放課後子ども教室開設数	教室	—	—	3		3		
	とみさとザ・ワールド・キッズ開設数	教室	—	—	4		4		
			—	—	—	—	—	—	
第三次実施計画	活動指標*	放課後子ども教室開設数	教室	2	2	—	—	—	—
		英会話体験活動(とみさとザ・ワールドキッズ)開設数	教室	4	3	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—
	成果指標*	放課後子ども教室参加者数	人	60	73	—	—	—	—
		英会話体験活動(とみさとザ・ワールドキッズ)参加者数	人	80	54	—	—	—	—
				—	—	—	—	—	—

* 活動指標:事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標:達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	放課後子ども教室実施2校については、目標値を達成している。とみさとザ・ワールドキッズの参加者数は、目標値の6割に留まったが、28年度実績人数より上回ることができている。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	今後も学校、地域と連携を図りながら、子ども達に様々な体験や学習機会を提供したり、地域の方たちと交流できる場を設けていきたい。また、子ども・子育て支援事業計画策定にある、学童クラブと放課後子ども教室との連携を図り、一体型での実施を推進していく。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	

第四次実施計画事業シート（平成29年度事務事業評価）

新規・継続	継続	主要事業	×	事業コード	2040328
-------	----	------	---	-------	---------



【継続】の場合の区分	継続
------------	----

部等名	課等名	班等名
教育委員会	生涯学習課	社会教育班

事業(予算)名	社会教育総務事業
---------	----------

総合計画体系	施策の大綱	第2章 教えあい、みんなで学ぶ、心の豊かさや愛を育むまち						
	施策	施策4 青少年の健全な育成						
	施策の展開	(3) 青少年の体験活動の推進						
予算科目	会計	一般	款	9	項	5	目	1
関連計画・根拠法令等	社会教育法, 富里市教育振興基本計画, とみさと教育プラン							
事業期間	開始年度	開始する理由			終了予定年度	終了する理由		
	S38							

事業の概要	現状(課題・ニーズ)	少子化や核家族化といった青少年を取り巻く環境が変化してきたことに伴い、これまでの家庭での教育に加え青少年同士や地域住民との交流から学んできた規範意識やコミュニケーション能力を身につける機会が減少しており、このことが青少年の社会的自立の遅れや非行など様々な問題を生じさせている。						
	対象(誰・何を)	市民						
	事業内容(課題・ニーズの解決策)	青少年の健全育は、学校、家庭、地域が連携し、青少年と大人が率直に語り合える機会を充実させるとともに、良好な社会環境を整える事が重要である。						
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> PFI <input type="checkbox"/> その他の民間活用 ()						
	事業手法選択の理由	各団体における活動については、それぞれの団体がやっている。市においては、各団体への補助金の交付等行っている。						
	協働の取組	無	協働の取組内容					

指標	単位	実績値	目標値		指標として設定する理由	
		29年度	30年度	31年度		32年度
青少年相談員総数	人	46	46	43	43	各小学校区ごとに相談員を選出しているため。
単位子ども会団体数	団体	11	12	12	12	子ども会活動の状況把握をするため。
後期基本計画における指標	単位	実績値26年度	目標値32年度	指標(後期基本計画)の達成に寄与する理由		
総合戦略における指標等	単位	基準値(年度)	目標値31年度	区分	指標又は重要業績評価指標(KPI)の達成に寄与する理由	
		()				
		()				
		()				

事業(予算)名		部等名		課等名		班等名	
社会教育総務事業		教育委員会		生涯学習課		社会教育班	
指標	単位	29年度(第三次実施計画)		30年度		31年度	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
第四次実施計画	青少年相談員総数	人	—	—	46		46
	単位子ども会団体数	団体	—	—	12		12
			—	—	—	—	—
第三次実施計画	活動指標*	青少年相談員活動補助金	円	660,000	660,000	—	—
		子ども会育成会活動補助金	円	350,000	204,261	—	—
				—	—	—	—
	成果指標*	青少年相談員総数	人	46	46	—	—
		単位子ども会団体数	団体	14	11	—	—
				—	—	—	—

* 活動指標: 事務事業の活動量を表す指標

* 成果指標: 達成度を表す指標

評価	平成29年度	事業効果	相当程度効果があった
		判断理由	目標値は上回らなかったが、概ね目標値を達成できた。
		実績値を踏まえた今後の方針	事業の継続
		今後の方針の理由及び今後の予定	青少年の健全育成に良好な環境を整えることに努める。
	平成30年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	
	平成31年度	事業効果	
		判断理由	
		実績値を踏まえた今後の方針	
		今後の方針の理由及び今後の予定	